

2007 年度

科目名 書道史 A	対象学科・学年 文学部日文 2 回生	担当者 永田 誠
授業テーマ 中国の太古から中華民国に到る各時代の書道の歴史と名品鑑賞		
授業の概要と目標 中国の各時代の書道史の概要を知り、名品を鑑賞することによって書の漢字の真の美を理解し、書を愛好する心情と感性を養うと同時に芸術に対する諸能力と豊かな情操を育てる。		
評価方法 鑑賞レポート、授業態度、出席重視。 3 回以上欠席した場合は、単位の取得を認めない。(遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。)		
テキスト 技法講座付和漢書道史	著者 永田 峰亭	出版社
参考書 明解書道史	著者 加藤 達成 小名木 康佑	出版社 日本習字普及協会
授業スケジュール・内容 1・2 太古・三代・秦時代の背景と書道史の概要 文字の創成と古文・大篆・小篆・古隸・八分を鑑賞する。 3・4 前漢・後漢時代の背景と書道史の概要 木簡(竹簡) 章草体・隸書全盛時代の諸碑拓本を鑑賞する。 5・6・7 三国・西晋・六朝(南朝)時代の背景と書道史の概要 隸書と楷書の間媒体の文字、楷・行・草の完成した文字を鑑賞する。 8・9・10・11 六朝(北朝)・隋・唐(初唐)時代の背景と書道史の概要 造像記・墓誌銘・千字文・三代家の楷書を鑑賞する。 12・13 唐(中・晩唐)・五代・宋時代の背景と書道史の概要 個性的な書風(宋朝四大家)を鑑賞する。 14・15 元・明・清・中華時代の背景と書道史の概要 破格の書(王鐸・張瑞図等)の作品を鑑賞する。 *必要に応じ「書の道…中国書道の旅」ビデオを使用する。		